

教材名	お話作り双六ゲーム
ねらい	文作り 助詞の習得 「何」「だれ」「いつ」「どこ」の意識化
手順と内容	(準備物) ゲーム板 サイコロ、参加人数分のコマ 「だれが」「いつ」「どこで」の文字カード
活用の仕方	 <p>サイコロの目の数だけ進んで行き、止まったところの絵を使って短文を作る 「1～3」「1～6」「1～10」と色々な目の数のサイコロを用意しておくと、ゲーム時間の調節も可能 子どもの実態に応じて「だれが」「どこで」「いつ」のカードを用意し、それを文の中に入れさせると面白い。</p>

(八幡第二小学校提供)

